

うに郷通信

No.83

平成 28 年(2016) 5 月



発行：宇仁郷まちづくり協議会 (編集:情報部会)

第 4 回さくらまつりを盛大に開催 ~宇仁っ子ふるさとガイド隊もデビュー~

4 日 3 日、満開間近の桜のもとで宇仁郷まちづくり協議会の第 4 回さくらまつりを開催しました。曇りのち雨の予報でしたが、前日に八王子神社へ参拝したおかげもあったので、朝方降っていた小雨が開会前にやんで宇仁の里ふるさと太鼓の響きに続き開会式に移りました。西村市長の「宇仁郷まちづくり協議会が市内他地区の先導的活動をしている」などの挨拶に続き大豊県会議員、丸岡市会議員の挨拶があり、ご来賓 11 名の紹介をして立派な式典となりました。



今回は宇仁郷歴史資料館が昨年 10 月に開館したことに伴い、恒例のイベントに加えて宇仁小学校 5・6 年生 9 人による「宇仁っ子ふるさとガイド隊」が発足し、宇仁地区の説明をしてくれることになりました。八王子神社の歴史や古墳、また宇仁小学校の創設者内山隆保氏の碑、歴史資料館などの説明を午前中に 2 回、それぞれ 40 人の方々に前に堂々と立派な説明をしてくれました。



また、歴史資料館の横には各町区長さんの協力で収集した昔の農具の展示コーナーを設けました。草取り機などを眺めて昔の苦勞を懐かしんだり、何をするのに使用したのかと質問をする若い方もいました。

旧幼稚園の教室では播州赤穂観光ガイド協会の鍋谷会長による講演があり、宇仁郷が赤穂藩の傘下にあった時代の当地の取締りの役目だった赤穂義士吉田忠左衛門に関わる話を約 50 人が熱心に聞き入りました。

まつりの最後は賑やかな抽選会です。ご協賛いただいた企業・団体様のおかげで最後まで楽しい一日となりました。本当にありがとうございました。(さくらまつり実行委員会)

さくらまつりに参加して ~宇仁っ子ふるさとガイド隊に感動~



「一宇仁の里・花畑街道一第4回さくらまつり」にご招待いただきありがとうございました。多くの皆様の参加で「第 4 回さくらまつり」が盛会に開催されましたことを心よりお喜び申し上げます。

開会式の式典の後、宇仁小学校の 5・6 年生(9 人)による「宇仁っ子ふるさとガイド隊」の皆様から宇仁郷の歴史ガイドを聞かせていただきました。八王子神社の言い伝えや成り立ち、赤穂藩郡奉行吉田忠左衛門との関わり、古墳時代後期(6 世紀ごろ)に造られた八王子神社裏手にある 6 基の鏡山古墳群について、平成 27 年 10 月に生まれ変わった宇仁郷歴史資料館。

ゆっくりと丁寧でわかりやすい説明にとっても感動しました。堂々と多くの観衆の前で披露されましたガイド隊の皆様は、本当に素敵でした。皆様からおもてなしの気持ちがよく伝わってきました。

宇仁郷には長い歴史があります。1300 年以上も前から雲潤里を流れる油谷川流域に人々が暮らしていました。ふる里宇仁郷を知り、魅力を守り、語り継いで行くことは大切です。宇仁の歴史を伝え、宇仁地区に誇りを持つ



て成長されることを願っています。

またお出合いできることを楽しみにしています。ありがとうございました。

(加西市ふるさと創造部 西岡義信)

宇仁小学校の卒業式に出席して

3月23日、宇仁小学校の平成27年度卒業証書授与式が行われました。男子6人、女子7人の合計13人の卒業生たちは、うるみホールの階段から藤部先生の先導で会場に入場しました。

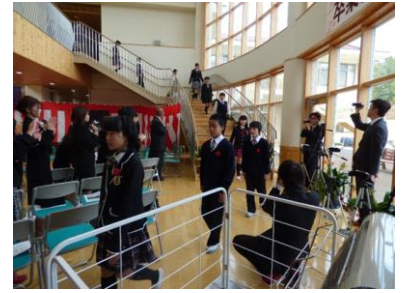
君が代斉唱のあと、楠田校長先生から一人ひとりに卒業証書が手渡されました。そのあとの学校長式辞では、卒業生一人ひとりの宇仁小学校での活躍の様子や思い出を盛り込まれ、卒業生・ご両親にとってはこの上ない思い出になったことと思います。

教育委員会告示・来賓の祝辞などの式典のあと、卒業生から在校生へ・在校生から卒業生へのお別れの言葉を交わしました。

思い出の場面をスクリーンに映しながら卒業生からご両親へのお礼の言葉には、感極まって息を詰まらせる場面もあり、出席者一同とも心暖まる卒業式でした。

卒業生たちは春晴れの中、在校生たちとハイタッチをしながら、来賓の方々・先生・ご両親に見送られて校舎を去っていきました。中学生になってもこの日の感動を忘れず宇仁小魂で活躍して欲しいと思います。

(卒業生のおじいちゃんより)



加西市観光まちづくり活動交流会が開催されました



4月17日(日)、アスティア加西3F 交流プラザにおいて加西市観光まちづくり協会主催の「第3回 加西市観光まちづくり活動交流会(まち活)」が開催されました。加西市内各地域で活動している12団体の実践発表があり、昨年金賞に輝いた宇仁郷まちづくり協議会も平成27年度の活動を中心に発表しました。

今回はどの団体も活動内容が立派な充実したものになっており、団体交流賞に北条高等学校ふるさと創造部、審査委員長賞に鶉野平和祈念の碑苑保存会が表彰されました。表彰式のあと阪南大学国際観光学部吉兼秀夫教授による「住民が誇りを持つまちづくり」をテーマにした講演会があり、参加者は熱心に聞き入っていました。

また、今年も宇仁のふれあい喫茶が女性6人で参加し、休憩時に大勢の来場者におもてなしをして大好評でした。

(事務局)



宇仁郷歴史資料館だより ③-1 近世の宇仁郷

室町幕府の滅亡(1573)後、織田信長が天下統一を目指しますが、信長が明智光秀の謀反により亡くなる本能寺の変(1582)が起こります。その後、豊臣秀吉が全国統一(1590)を成し遂げますが、秀吉の死後、徳川家康の東軍、豊臣陣営の西軍による関ヶ原の戦い(1600)に西軍は敗れ大坂冬の陣(1614)大坂夏の陣(1615)を経て豊臣家は滅亡します。以後徳川幕府は家康から15代将軍徳川慶喜まで続きますが、ペリーの浦賀への来航(1853)等、諸外国より開国を迫られる中、維新の波が押し寄せ大政奉還(1867)がなされ明治の時代となります。この約300年が「近世」と言われております。

豊臣秀吉が天下を統一するまで、当地方も戦火の渦に巻き込まれています。滝野の光明寺において足利尊氏と石塔頼房が戦い(1351)、その後足利勢との戦い(1485)が勃発し2度に渡る戦いは、光明寺合戦として史実に残っております。小野河合に本拠を置く赤松満裕は、室町幕府6代将軍足利義教を京都の私邸において断首(1441)。加東新定の安国寺に義教の霊を慰める供養塔があります。その後、秀吉の中国征伐で、三木城主別所氏と和議ならず三木城は秀吉軍に包囲され別所氏は滅亡(1578)します。この頃の宇仁郷はどうであったか、次号で紹介します。

開館日 第1・3日曜9時30分～12時